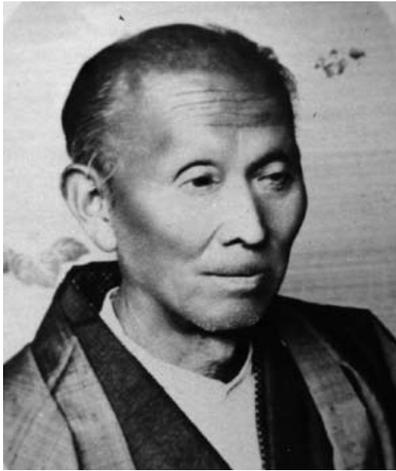


# い べ よしのり 井部 栄範 (1842~1914)



地方の行政や産業の発展に尽くした。

久万林業の先駆者。紀伊国和歌山城下(現、和歌山県和歌山市)出身。嘉永5(1852)年、高野山遍照尊院において出家し、関西地方各地の寺で修行の後、師の木島堅州僧正の招きにより石手寺に入り、堅州が久万菅生山大宝寺の住職となると師に従って大宝寺の執事となった。紀伊国吉野の林業を知っていた栄範は、久万地方が林業に適していると判断し、師の許しを得て寺の所有地に杉苗3千本を植林した。明治7(1874)年、大宝寺が火災により焼失した際、還俗して林業育成に専念し、栄範は首に数珠をかけながら植林に励んだ。明治12(1879)年、菅生村(現、久万高原町)戸長(後の村長)となると各戸に杉苗を配布して林業を奨励し、主産業のない村の活路を造林に求めて今日の久万林業の基礎を作った。また、松山-高知間道路(現、国道33号)の工事を請け負ったり、久万銀行を創立するなど久万

## 略 歴

天保13(1842)年1月25日	紀伊国和歌山城下に生まれる。
嘉永5(1852)年	高野山において出家
慶応元(1865)年	師の木島堅州僧正の招きで石手寺に入る。
明治5(1872)年	木島僧正に従い菅生山大宝寺に入り、執事を務める。
明治6(1873)年	大宝寺周辺に杉の植樹を開始
明治7(1874)年	仏門を離れ、俗世に戻る。
明治12(1879)年	菅生村戸長となる。
明治18(1885)年	松山-高知間道路の工事相談役となる。
明治19(1886)年	県会議員補欠選挙に当選
明治21(1888)年	松山-高知間道路の高知県境までの工事請負人となる。
明治26(1893)年	久万山融通株式会社を創立し社長となる。
明治34(1901)年	久万山融通株式会社を久万銀行に改め頭取となる。
大正3(1914)年2月9日	久万造林株式会社を創立、代表取締役就任
2月22日	73歳で永眠

(写真提供：久万造林株式会社)

### 〈関連図書〉

- ・『浮穴史談 創刊号』 上浮穴郷土談話会 1954年
  - ・久万町誌編集委員会『久万町誌』 久万町 1968年
  - ・『久万造林七十年の歩み』 久万造林七十年史編集委員会 1984年
  - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
  - ・『愛媛人物博物館 人物探訪第7集』 愛媛県生涯学習センター 2005年
- 〈ゆかりのある場所〉…(P280, 66)